

教育哲学研究

第 127 号

2023

研究討議 口承・画像・記憶と人間形成 — 文化科学的教育学の試み —

- イメージと人間形成 — 美術の制作と鑑賞を念頭に置きつつ —小松 佳代子
口承を採り入れた音楽の理解と教育の可能性
— 東欧ユダヤ民俗音楽の復興と伝承を事例として —三代 真理子
人間としての文化、ネットワークとしての文化
— メモリー・スタディーズから〈自己／文化〉形成論を考える —山名 淳
指定討論 教育を支えるものとしての生活と文化眞壁 宏幹
研究討議に関する総括的報告松浦 良充 / 渡邊 福太郎

課題研究 身体性と教育 — 「経験」と「つながり」の基盤を再考する —

- 身体を曝し合う活動における共通感覚に基づく共通感情の発生
— 「会話を継続する」ために必要とされる前提・基盤 —藤井 千春
授業自己評価支援ツールとしての「エスノメトリー法」の適用可能性について
— 道徳授業における「自分ごと化」に関わる児童の身体表現に着目して —藤川 信夫
「身体的存在」の技術的変容
— 京都学派身体論が映す教育の轍 —門前 斐紀
課題研究に関する総括的報告田中 智志 / 西村 拓生

論文

- 市民性教育の基礎論としてのバーリン価値多元論の可能性
— その「現実感覚」に着目して —高須 明根

エッセイ

- みんなが「見せることば」で話す幼稚園
— メルロ=ポンティの身体論から読み解く —西岡 けいこ

教育哲学を考える

- ある概念との出会いについて藤田 雄飛

研究状況報告

- 「政治的なもの」と「教育的なもの」の交差
— 政治思想における教育／人間形成論の含意を再考する —岸本 智典 / 関根 宏朗 / 小玉 重夫 / 田中 智輝
人間形成・自己形成・アイデンティティ形成
— 人間形成論的バイオグラフィー研究の来し方行く末を見据えて —鳥光 美緒子 / 野平 慎二 / 藤井 佳世 / 溝上 慎一 / 山田 浩之
教育哲学研究における「科学性」の再検討鈴木 篤 / 平井 悠介 / 河野 桃子 / 岡村 美由規

世界市民的教育の空間を考究する — 境界の内で／境界を越えて —

.....広瀬 悠三 / 藤井 基貴 / 生澤 繁樹 / 米津 美香
存在論は教育学にいかなる貢献を果たし得るか — 「ハイデガーと教育学」という問題圏 —

.....森 祐亮 / 池田 全之 / 齋藤 元紀 / 井谷 信彦
ウィトゲンシュタイン哲学に基づいた教育実践記述・分析の可能性

.....丸山 恭司 / 平田 仁胤 / 杉田 浩崇 / 山岸 賢一郎

教育哲学会の現在

失われた「廊下」を求めて — 次世代育成企画委員会（第一期・第二期）の記録 —

.....下司 晶 / 生澤 繁樹 / 井谷 信彦 / 小野 文生 / 平田 仁胤 / 室井 麗子

外国学界・教育界の動向

韓国教育哲学会 2022 年大会に参加して

.....野平 慎二 / 山名 淳

書評

今井康雄著『反自然主義の教育思想 — 〈世界への導入〉に向けて』池田 全之

上野正道著『ジョン・デューイ — 民主主義と教育の哲学』山上 裕子

小野文生著『〈非在〉のエティカ — ただ生きることの歓待の哲学』今井 康雄

田中智志著『失われた〈心の眼〉 — 人間の自然とベルクソン』小野 文生

村井尚子著『ヴァン=マーネンの教育学』伊藤 博美

森岡次郎著『教育の〈不可能性〉と向き合う

— 優生思想・障害者解放運動・他者への欲望』村上 美奈子

山田真由美著『京都学派の教育思想 — 歴史哲学と教育哲学の架橋』西村 拓生

図書紹介

衛藤吉則著『「らしさ」を育てるシュタイナー教育とモンテッソーリ教育

— 発達支援へのチャレンジ』河野 桃子

工藤勇一・苫野一徳著『子どもたちに民主主義を教えよう

— 対立から合意を導く力を育む』上地 完治

西方守著『私の教育哲学 — コロナ禍の講義録』深見 奨平

森田裕之著『ドゥルーズ=ガタリ『アンチ・オイディプス』を読む』松枝 拓生

山内紀幸編著『探究プロジェクトの最前線

— 国際バカロレア（PYP）の理論と実践』安部 高太朗

デボラ・P・ブリッツマン著／下司晶・須川公央監訳／波多野名奈・

関根宏朗・後藤悠帆訳『フロイトと教育』野見 収

学会報告・第 65 回大会報告

英文摘要